

# 千葉県感染症発生動向調査情報

2025年 第34週 (8/18-8/24)

## 1 定点把握対象感染症(五類感染症の一部)

定点	報告定点医療機関数			
	第34週	第33週	第32週	第31週
小児科	16	16	16	16
ARI(急性呼吸器感染症)	26	26	24	26
眼科	5	5	4	5
基幹	1	1	1	1

上段: 報告患者数、下段: 定点当たりの報告数

定点当たりの報告数: 報告患者数/報告定点医療機関数

定点	感染症	発生動向	8/18-8/24 第34週	8/11-8/17 第33週	8/4-8/10 第32週	7/28-8/3 第31週
小児科	RSウイルス感染症		9 0.56	5 0.31	11 0.69	6 0.38
	咽頭結膜熱		1 0.06	3 0.19	6 0.38	6 0.38
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		15 0.94	7 0.44	37 2.31	31 1.94
	感染性胃腸炎	↑	68 4.25	20 1.25	85 5.31	101 6.31
	水痘		0 0.00	1 0.06	2 0.13	2 0.13
	手足口病	↑	46 2.88	0 0.00	60 3.75	39 2.44
	伝染性紅斑	↑	19 1.19	13 0.81	32 2.00	32 2.00
	突発性発しん		5 0.31	2 0.13	6 0.38	10 0.63
	ヘルパンギーナ	↑	27 1.69	9 0.56	15 0.94	20 1.25
	流行性耳下腺炎		0 0.00	0 0.00	1 0.06	0 0.00
ARI	インフルエンザ (高病原性鳥インフルエンザを除く)		14 0.54	4 0.15	10 0.42	3 0.12
	新型コロナウイルス感染症	↑	132 5.08	44 1.69	110 4.58	146 5.62
	急性呼吸器感染症	↑	1,212 46.62	477 18.35	1,310 54.58	1,502 57.77
眼科	急性出血性結膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	流行性角結膜炎	↑	20 4.00	7 1.40	14 3.50	14 2.80
基幹	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	マイコプラズマ肺炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	無菌性髄膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	インフルエンザ入院		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	新型コロナウイルス感染症入院	↑	12 12.00	5 5.00	2 2.00	11 11.00

※「発生動向」欄のマークについて

< 流行状況 >

★★: 「警報レベル」流行発生警報開始基準値以上(終息基準値を下回るまで継続表示)

★: 「注意報レベル」流行発生注意報基準値以上

※警報レベル・注意報レベルについては、市感染症情報センターWebSiteの「警報・注意報の解説」のページをご覧ください。

< 増減 >: マークの対象は当該週又は前週の定点当たりの報告数が1.00以上

↑・↓: 「増加・減少」定点当たりの報告数が前週より5%を超えた増加または減少

## 2 全数報告対象感染症 53 件

感染症		性別	年齢層	感染症	性別	年齢層
結核	無症状病原体保有者	男	80歳代		百日咳(47件)	男女
		女	10歳代	男女		10歳代 20
腸管出血性大腸菌感染症		男	20歳代	男女		20歳代 4
		男	50歳代	男女		30歳代 3
梅毒		女	10歳代	男女		40歳代 7
		女	20歳代	男		50歳代 2
-	-	-	-	女		60歳代 1

結核1件(97)、腸管出血性大腸菌感染症3件(26)、梅毒2件(45)、百日咳47件(738)の発生届があった。

※ ( )内は2025年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

## 3 定点当たり報告数 第34週のコメント

### <感染性胃腸炎>

前週より増加し4.25となった。年齢階級別の報告数は3歳が最多。

### <手足口病>

前週より増加し2.88となった。年齢階級別の報告数は1歳が最多。

### <伝染性紅斑>

前週より増加し1.19となった。過去5年の同時期と比べ最多のまま。年齢階級別の報告数は5歳が最多。

### <ヘルパンギーナ>

前週より増加し1.69となり、過去5年の同時期と比べ最多となった。年齢階級別の報告数は1歳が最多。

### <新型コロナウイルス感染症>

前週より増加し5.08となった。年代別の報告数は0-9歳が最も多く、1歳が最多。

### <急性呼吸器感染症>(第15週から調査開始)

前週より増加し46.62となった。年齢群別の報告数は1-4歳が最多。

### <流行性角結膜炎>

前週より増加し4.00となり、現行の調査が開始された1999年以降の最多を更新した。年代別の報告数は0-9歳が最も多く、8歳が最多。

### <新型コロナウイルス感染症(入院)>

前週より増加し12.00となった。

■ 各感染症のグラフ、インフルエンザ発生状況は、市感染症情報センターWebSiteでご覧いただけます。

・感染症発生グラフ

<https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/khoken/kkagaku/idsc/documents/graph2025.pdf>

・インフルエンザ発生状況

<https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/khoken/kkagaku/idsc/documents/influ2025.pdf>

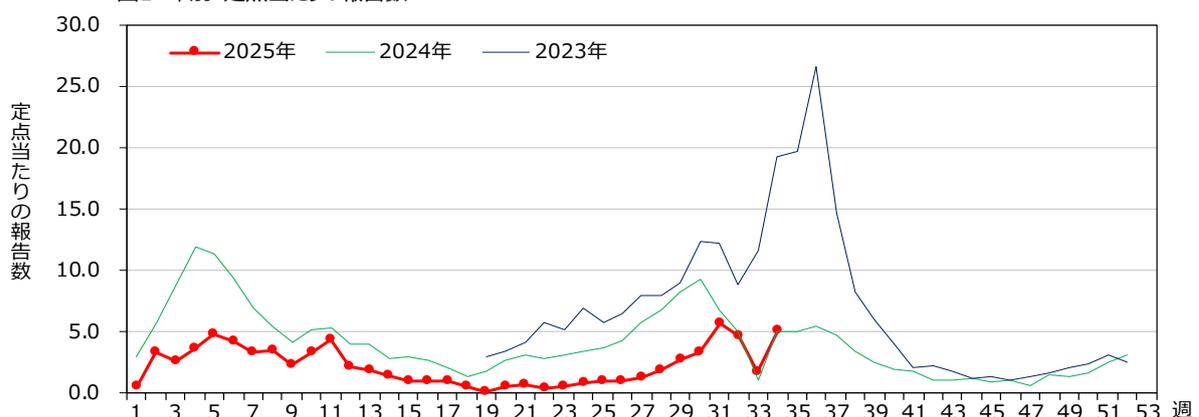
## ■ トピック ■

### <新型コロナウイルス感染症>

2025年第33週現在の全国の定点当たりの報告数は6.30で、過去2年の同時期と比べると最少となっています。宮崎県(14.74)が最も多く、次いで鹿児島県(12.63)、埼玉県(11.52)の順となっています。千葉県は5.81で、全国レベルより少なくなっています。

千葉市の第34週は前週より増加し5.08となりました。昨年の同時期(2024年第34週:4.96)とほぼ同じレベルですが、2025年は昨年よりも低いレベルで推移しています。第12週から第19週まで減少傾向を示していましたが、第20週から第31週まで増加傾向を示し、その後、第32週と第33週は連続して減少したものの、第34週は再び増加に転じました(図1)。

図1 年別・定点当たりの報告数



2025年第1週から第34週までの定点からの報告数は男性915件(45.4%)、女性1,101件(54.6%)の合計2,016件となっています。年代別では0-9歳(395件、19.6%)が最も多く、次いで50-59歳(295件、14.6%)、10-19歳(269件、13.3%)の順となっています(図2)。報告数が最も多い0-9歳では男児202件(51.1%)、女児193件(48.9%)で、1歳(58件、14.7%)が最も多く、次いで0歳(56件、14.2%)、4歳(46件、11.6%)の順となっています(図3)。

図2 年代別報告数 (2025年第1週-第34週 n=2016)

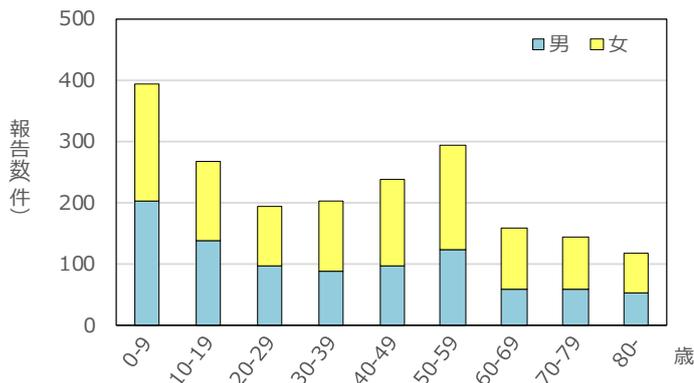
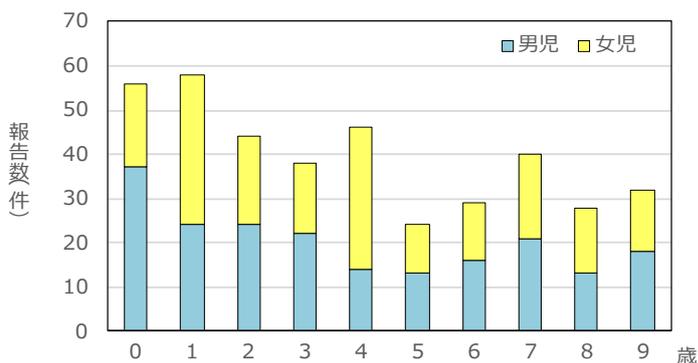


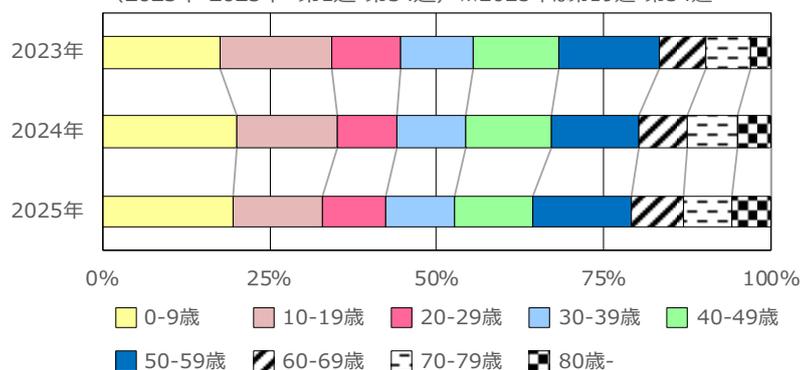
図3 年齢別報告数 (0-9歳) 2025年第1週-第34週 n=395



過去2年における第34週までの患者報告数に対する各年代が占める割合を比較すると、10-19歳が占める割合が減少し、80歳以上が占める割合が増加しています(図4)。

図4 週別の届出数に占める年代別分布

(2023年-2025年 第1週-第34週) ※2023年は第19週-第34週



基幹定点からの入院患者数の報告によると、第34週(12.00)は第33週(5.00)から増加し、昨年の同時期を上回っています(図5)。第1週から第34週までに報告された入院患者数は、男性63件(50.8%)、女性61件(49.2%)の合計124件で、年代別では80歳以上(66件、53.2%)が最も多く過半数を占めており、次いで70-79歳(26件、21.0%)、60-69歳(13件、10.5%)の順となっています(図6)。

図5 定点当たりの入院患者報告数 (2023年第39週-2025年第34週)

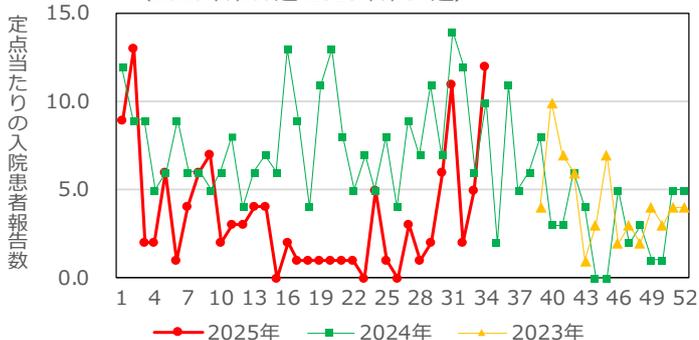
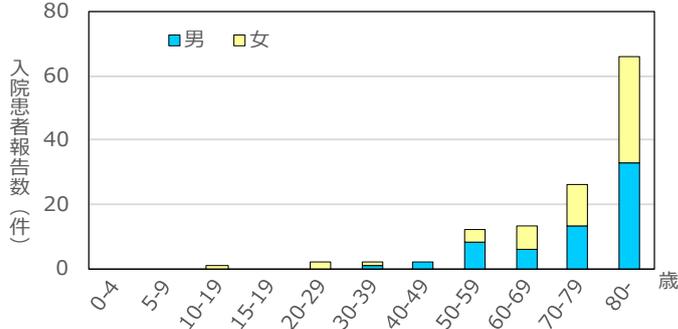


図6 定点医療機関からの入院患者報告数 (2025年第1週-第34週 n=124)



2025年4月1日以降、市内の医療機関から提供された新型コロナウイルス28株の遺伝子を解析した結果、NB.1.8.1(7株、25.0%)が最も多く、次いでXEC.4.2(3株、10.7%)及びPQ.2(3株、10.7%)の順となっています。

この季節の新型コロナウイルス感染症の対策ポイントは、「換気」「手洗い・手指消毒」などの基本的な感染対策が有効です。高齢者や基礎疾患のある方が感染すると重症化リスクも高まりますので、通院や高齢者施設を訪問する時などは、感染予防としてマスクの着用が効果的です。

詳細は、下記URLをご参照ください。

「新型コロナウイルス感染症の基本的な感染対策について」

[https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/seisaku/covid-19\\_kansenntaisaku.html](https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/seisaku/covid-19_kansenntaisaku.html)

※ 感染症発生動向調査とは、感染症の発生情報の正確な把握と分析、その結果の国民や医療機関への迅速な提供・公開により、感染症に対する有効かつ確かな予防・診断・治療に係る対策を図り、多様な感染症の発生及びまん延を防止することを目的としています。

<参考> 千葉県感染症情報センター

<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/index.html>